

## 浜岡原子力発電所 発電所構内排水路の白濁について

2014年9月13日

発生場所	浜岡原子力発電所構内
発生年月日	2014年9月13日
発生時の状況	<p>2014年9月13日午前7時頃、発電所構内排水路(周辺防護区域外)において、排水路内の水が白濁しており、魚が浮いていることを協力会社社員が確認しました。</p> <p>当社社員にて、ただちに現場を確認するとともに、土囊により当該排水路内の白濁した水を発電所敷地外へ流出させないための堰をつくりました。</p> <p>白濁した水はゼリー状であり、当該排水路の付近でおこなっている安全性向上対策のための地盤改良工事用の薬剤<sup>※1</sup>が水と混合したときの性状と類似していること、および白濁した水の分析結果から、この薬剤であると推定しています。</p> <p>また、当該排水路は3号機放水路につながっていることから、放水路の水について分析したところ、一般排水の基準内であり、白濁による影響がないことを確認しました。</p> <p>排水路内の白濁した水は、バキューム車にて回収しました。今後、白濁の原因と推定している薬剤が当該排水路内へ混入した経路を調査するとともに、引き続き排水路に異常がないか監視し、適切に対応します。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-18 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの」に該当します。

※1 薬剤(水ガラス)は、珪酸ナトリウムまたは珪酸ソーダと呼ばれており、単一の化合物ではなく、 $\text{SiO}_2$ (無水珪酸)と $\text{Na}_2\text{O}$ (酸化ソーダ)がいろいろな比率で混合している液体です。



以上